



たかっき

はたっき

令和7年度 第1回高畠町景況調査結果 (令和7年6月1日基準)

高畠町商工観光課



【令和6年12月～7年5月期景況調査について】

1.調査概要及び回収結果

(1)調査の目的

町内事業者の経済や産業の動向を把握し、今後の商工振興施策を検討するため。

(2)実施主体

高畠町・高畠町商工会

(3)調査設計

- ①標本数 : 町内事業所(個人事業主も含む)203事業所
- ②調査方法 : 調査票の配布(FAX、メール及び郵送)、回収(FAX及びメール)
- ③調査期間 : 令和7年6月2日～令和7年7月2日
- ④基準日 : 令和7年6月1日

(4)回収結果

138事業所(回収率68.0%) ※ 前回:67.1%

(5)採用指標

「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用。

実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

2. 景気動向(概要)

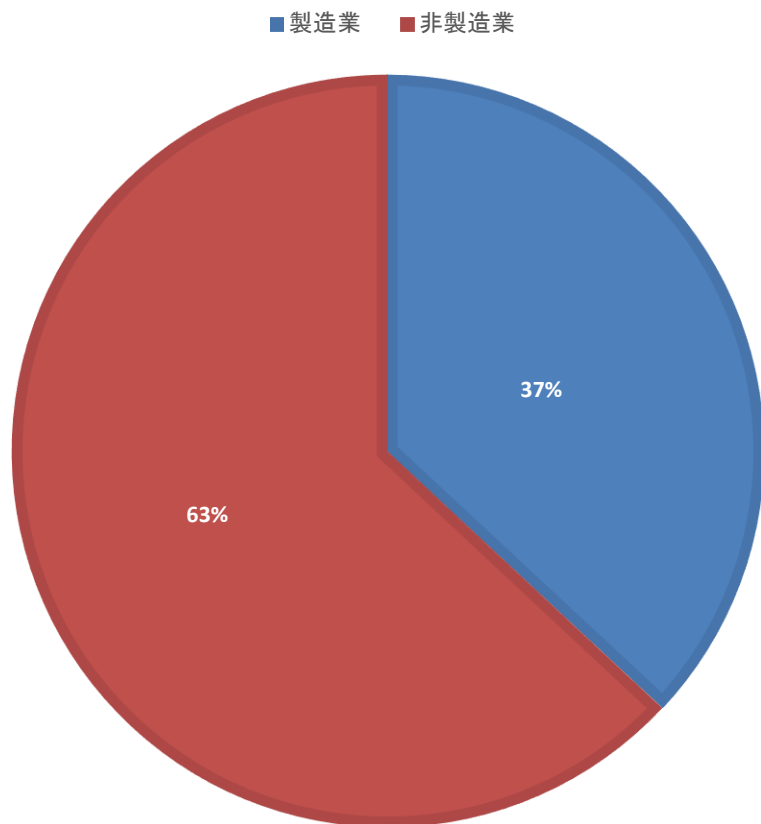
業況が改善し、総体的に景気は回復傾向にある。仕入価格の高騰が高い水準で続いているが、販売価格への転嫁が追い付かず、スムーズな動きとなっていない。世界及び国内経済に先行きの不透明感があり、安定性を欠いている。

- (1) 今期の業況は、前回(▲30.4)より14.0ポイント増の▲16.4となり、回復傾向を示している。マイナス値ではあるものの令和になって以降初めての▲10ポイント台のDI値となった。製造業・建設業の受注状況(▲24.1)が7.2ポイント増、全業種での生産・売上推移(▲15.6)が10.8ポイント増と改善傾向にある。しかし、大幅に下降している部分は見当たらないものの、全体的には安定感に欠ける増減値である。特に、仕入価格のDI値が76.6ポイント、販売価格のDI値が42.4ポイントと高い水準を推移している。価格高騰が続いていることに加えて、販売価格への転嫁がスムーズでないことがわかる。
- (2) 来期の業況は、今期(▲16.4)から12.8ポイント減の▲29.2ポイントとなった。今期において業況等の判断を「回復傾向」としたものの、一転して来期の判断は、ほとんどの項目でマイナス値が拡大傾向にある。コロナ禍からの回復基調を示していたが景気の減退や鈍化を懸念しているものと推察される。最大のマイナス要因は、トランプ政権の関税政策の動向や国内経済の先行きの不透明感に対するものであり、不安定な回答結果となっている。個別の項目では、製造業における出荷量(▲34.0)・出荷額(▲30.6)共に、DI値が、各々14.0、14.3ポイント、全業種における生産・売上(▲31.1)15.5ポイント、採算状況(▲12.8)が14.5ポイント下落している。

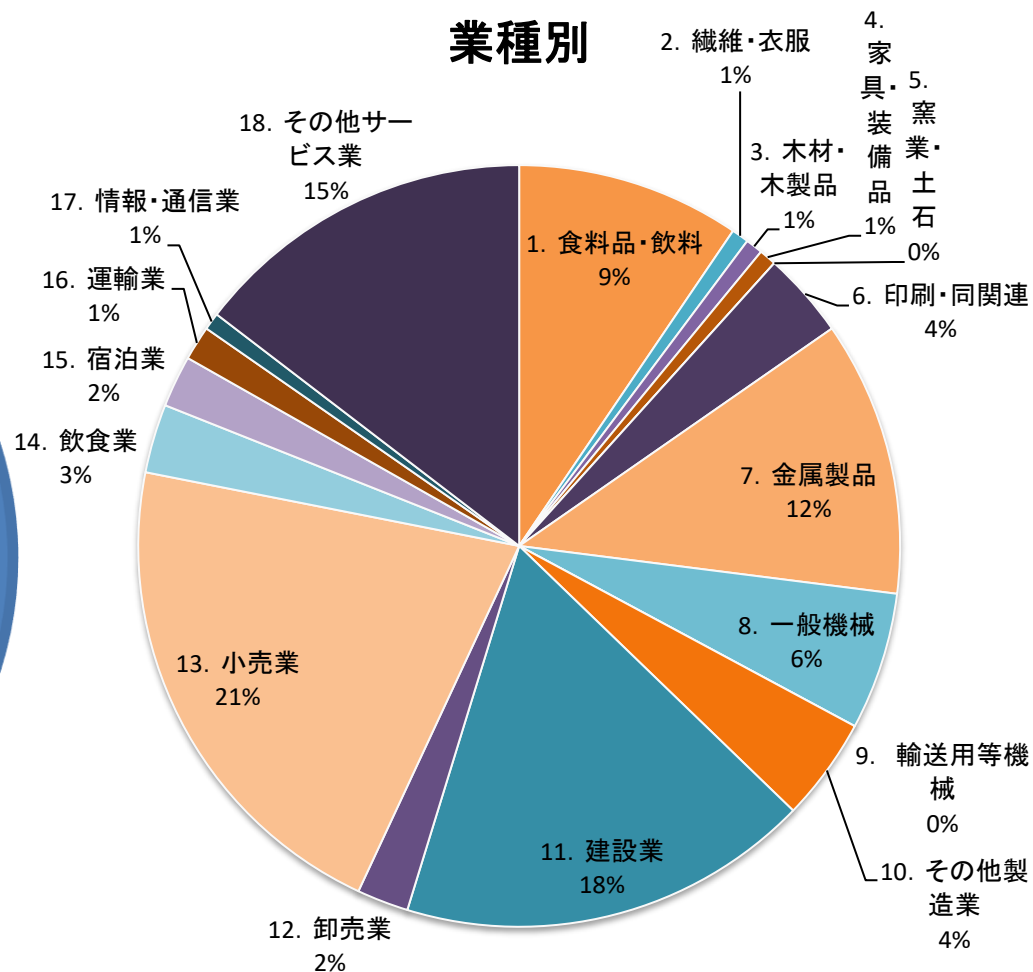
3.アンケート調査の結果①

回答事業所内訳

製造業・非製造業別

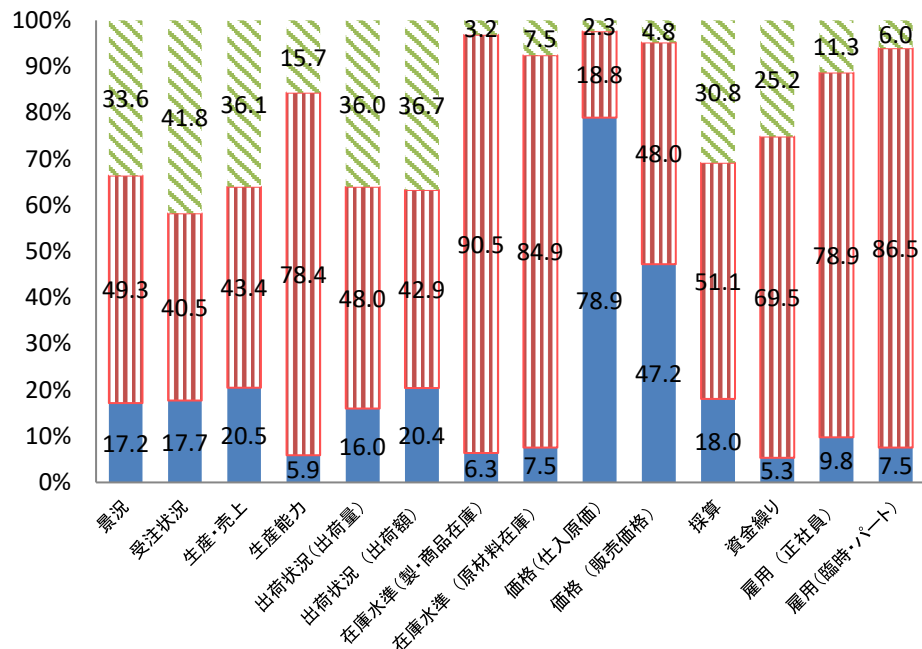


業種別

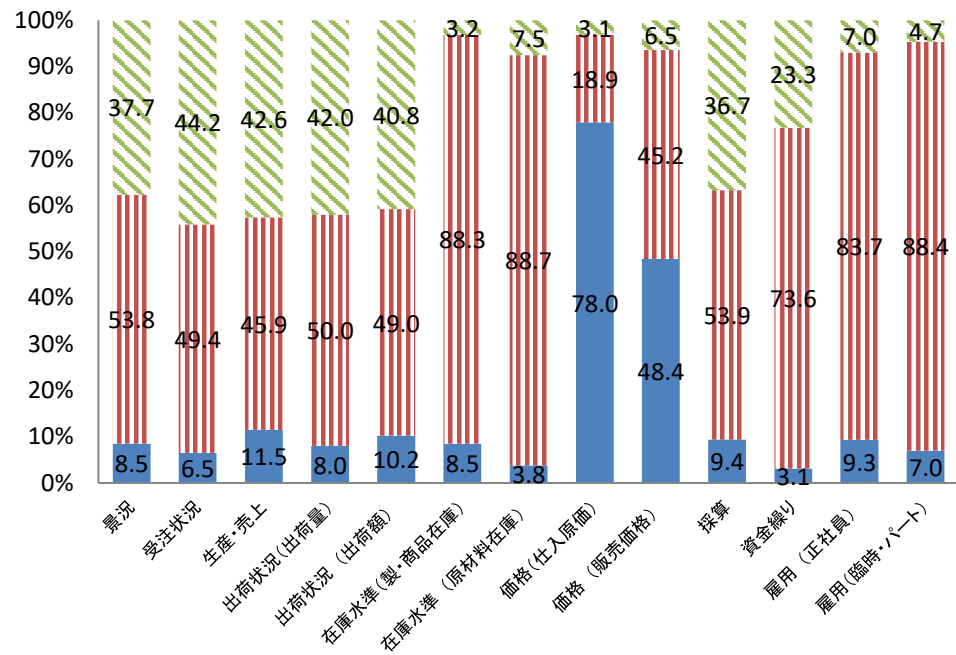


3.アンケート調査の結果②

今期(令和6年12月～令和7年5月)

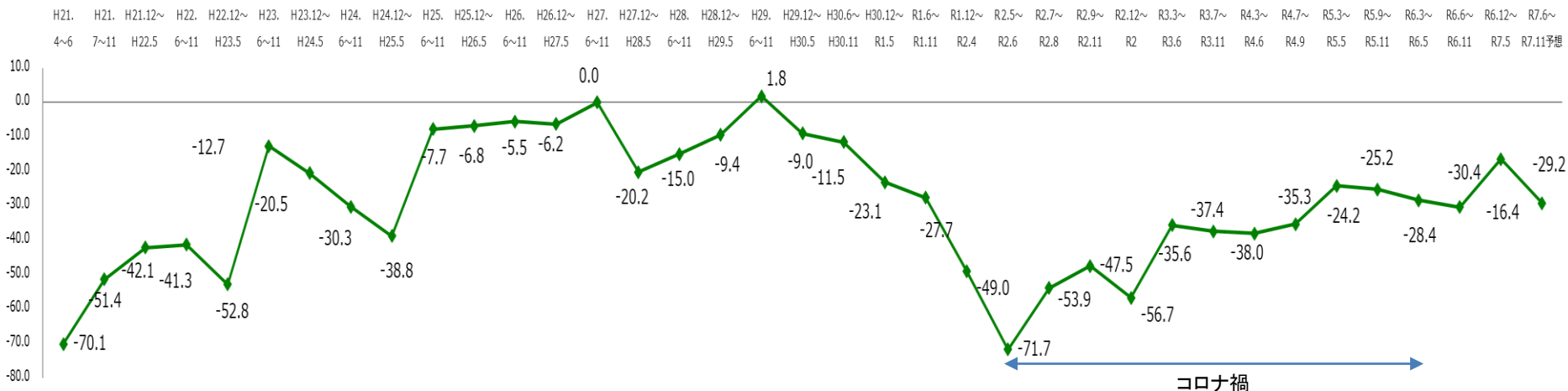


来期予想(令和7年6月～令和7年11月)



■ 増加(良い、上昇、過剰等) ■ 普通(不変、適正) ■ 減少(悪い、低下、不足等) ■ 増加(良い、上昇、過剰等) ■ 普通(不変、適正) ■ 減少(悪い、低下、不足等)

調査開始からの業況D.I.の推移



3.アンケート調査の結果③

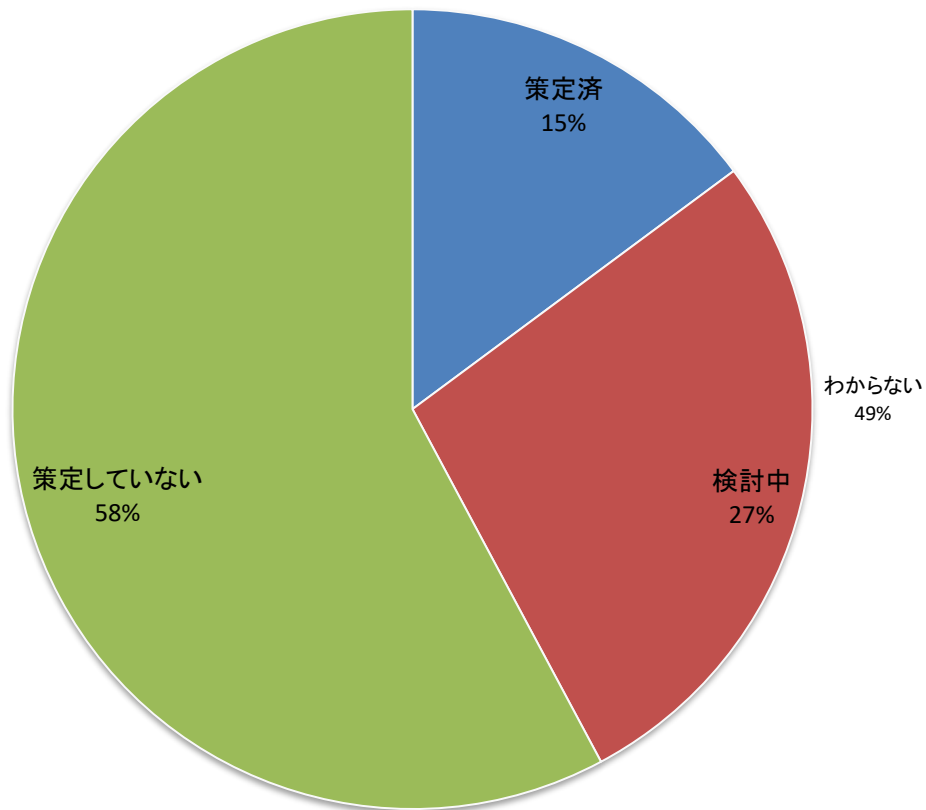
高島町景況調査(DI)から見た景気情勢推移(令和7年6月調査)

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」―「減少(悪い・低下・不足等)」の値

No.	調査項目	今回調査分														R6.12～ R7.5月期	R7.6～ R7.11月期 予想
		R1.6～ 11月期	R1.12～ R2.4月期	R2.5～ R2.6月期	R2.7～ R2.8月期	R2.9～ R2.11月 期	R2.12～ R3.2月期	R3.3～ R3.6月期	R3.7～ R3.11月 期	R4.3～ R4.6月期	R4.7～ R4.9月期	R5.3～ R5.5月期	R5.6～ R5.11月 期	R6.3～ R6.5月期	R6.6～ R6.11月 期		
1	業況 「良い」－「悪い」の指数	▲ 23.1	▲ 27.7	▲ 49.0	▲ 71.7	▲ 53.9	▲ 47.5	▲ 56.7	▲ 35.6	▲ 37.4	▲ 38.0	▲ 35.3	▲ 24.2	▲ 25.2	▲ 28.4	▲ 16.4	▲ 29.2
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」－「減少」の指数	▲ 25.3	▲ 29.6	▲ 56.9			▲ 49.4		▲ 17.1	▲ 13.0	▲ 12.3	▲ 22.9	▲ 10.5	▲ 17.4	▲ 28.4	▲ 24.1	▲ 37.7
3	生産・売上 「増加」－「減少」の指数	▲ 23.9	▲ 33.0	▲ 52.0	▲ 75.0	▲ 59.4	▲ 47.5	▲ 56.0	▲ 29.6	▲ 22.8	▲ 18.0	▲ 26.3	▲ 15.3	▲ 13.9	▲ 32.7	▲ 15.6	▲ 31.1
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 35.1	▲ 42.9	▲ 55.1			▲ 51.6		▲ 8.9	▲ 8.1	▲ 0.8		▲ 6.5	▲ 12.2	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 34.0
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 59.2			▲ 55.7		▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 3.3		▲ 4.8	▲ 6.1	▲ 36.0	▲ 16.3	▲ 30.6
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」－「不足」の指数	3.4	2.7	6.0			0.8		1.5	▲ 7.3	0.0		5.6	▲ 0.9	▲ 2.3	3.2	5.3
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」－「不足」の指数	5.3	4.1	14.3			▲ 1.7		0.7	▲ 7.3	▲ 1.6		4.8	1.7	10.9	0.0	▲ 3.8
6	価格【仕入価格】 「上昇」－「低下」の指数	37.6	37.5	10.0			17.2		50.4	65.9	77.0	78.2	76.6	72.2	76.6	76.6	74.8
	価格【販売価格】 「上昇」－「低下」の指数	5.1	0.0	▲ 16.0			▲ 11.5		0.0	8.1	29.5	34.5	35.5	36.5	30.5	42.4	41.9
7	採算 「好転」－「悪化」の指数	▲ 19.7	▲ 25.9	▲ 45.0			▲ 50.0		▲ 37.0	▲ 34.1	▲ 34.4	▲ 41.2	▲ 32.3	▲ 25.2	▲ 39.6	▲ 12.8	▲ 27.3
8	資金繰り 「好転」－「悪化」の指数	▲ 8.5	▲ 16.1	▲ 36.0	▲ 35.9	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 39.3	▲ 18.5	▲ 23.6	▲ 19.7	▲ 26.9	▲ 21.8	▲ 13.0	▲ 22.8	▲ 19.8	▲ 20.2
9	雇用【正社員】 「増加」－「減少」の指数	2.6	▲ 1.8	1.0			▲ 4.9		0.0	▲ 9.8	4.9		▲ 0.8	▲ 4.3	4.3	▲ 1.5	2.3
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」－「減少」の指数	1.7	▲ 3.6	▲ 5.0			▲ 1.6		▲ 1.5	3.3	3.3		1.6	0.9	0.9	1.5	2.3

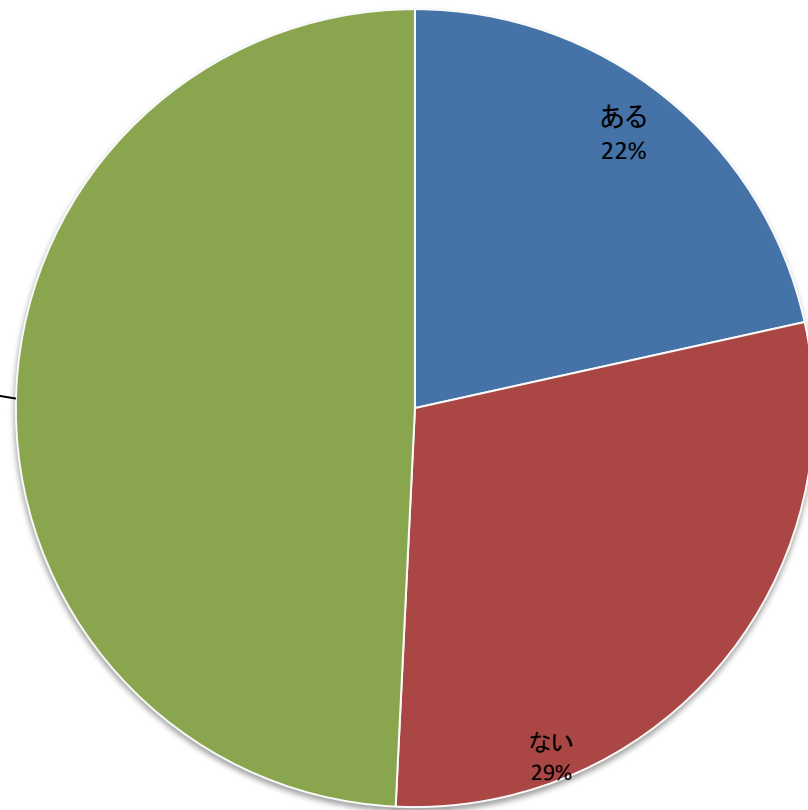
3.アンケート調査の結果④

BCP(業務継続計画)の策定



回答数: 128 / 203

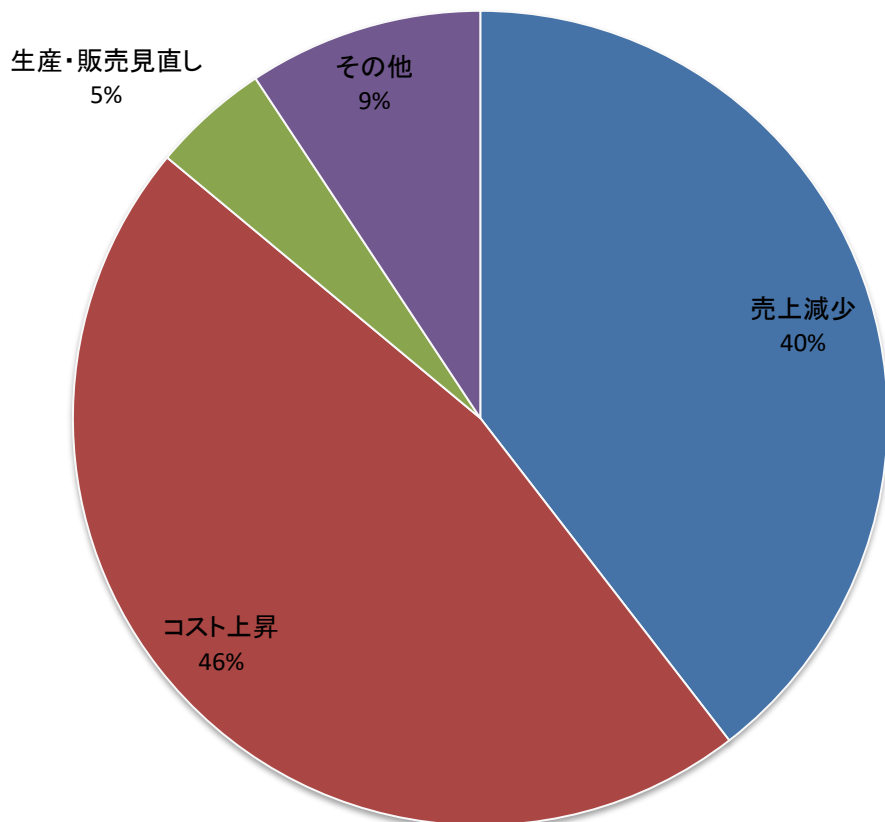
「トランプ関税政策」の影響



回答数: 130 / 203

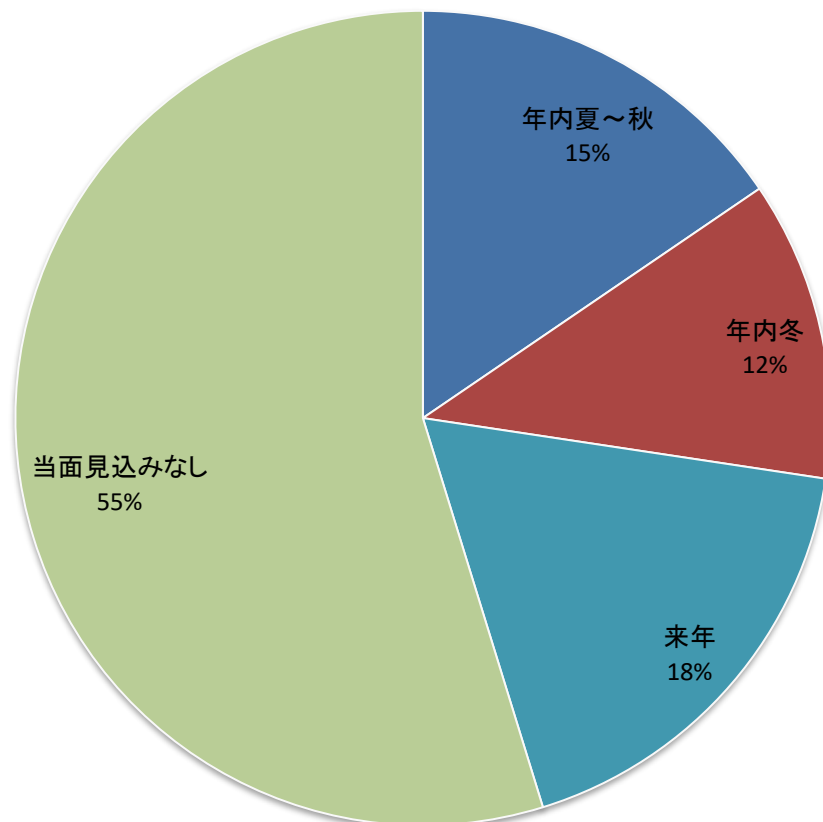
3.アンケート調査の結果⑤

想定される影響
(トランプ関税政策の
「影響あり」28事業所の内訳)



回答数: 影響あり28 / 203

業況の好転を見込んでいる時期



回答数: 67 / 203

4.町や商工会への要望(自由記載)

No	回答(コメント)内容
1	・物価高騰により、製品の需要減が感じられる。
2	・町内の事業者を利用していただき、町民が流出するのを防ぎ、活気のある町にして欲しい。
3	・人員(人材)確保のためのアドバイスをいただきたい。
4	・外国人従業員への支援や応援をお願いしたい。
5	・小売店や消費者向けのクーポン事業に対する補助金があるようだが、製造業にも光熱費等に対する補助金などを検討いただきたい。